

# おとずれ

(発行者) 富士吉田カトリック教会  
(住所) 〒403-0005  
山梨県富士吉田市上吉田 3-5-7  
(TEL&FAX) 0555-22-3199

2019年1月第437号

ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/>

## 神の母聖マリアと世界平和の日

主任司祭 内藤 聡

皆様、新年明けましておめでとうございます。富士吉田教会に赴任してからあつという間に1年が過ぎようとしています。時の流れは早いなと感じています。また、新しく迎える年も皆様と一緒に共に歩みながら、福音宣教に励んでいきたいと思えます。

さて、1月1日はカトリック教会では「神の母聖マリア」の祭日としてお祝いします。新しい年を迎えた今日、降誕8日目にあたる1月1日に、教会は、ローマの古い伝統に従い、「神の母マリア」の祭日を祝います。

マリアを「神の母」と宣言したのは、431年のエフェソ公会議でした。年のはじめをマリアの記念日として祝い、祈るのは古いローマ教会の伝統です。また、この日がことに大事にされるようになったのは、12月25日から数えてちょうど8日目にあたるからです。

8日目にあたる今日、誕生した神の子は「イエス」と命名されることにより、正式に神の民の歴史、人類の歴史の一員になります。

そして、マリアには、救い主としてのイエスの使命に、自分も深く一致するという母の姿があります。マリアは、羊飼いたちにイエスを示し、彼らを喜びでみましたが、今日も私たちに恵みそのものであるイエスを示し、与え続けられます。

そして、この1月1日は「世界平和の日」であり、教皇はメッセージを発表しています。「世界平和の日」として特別に平和のために祈るよう、1968年教皇パウロ6世により定められました。この年はベトナム戦争が激化しているときでした。

「世界平和の日」を定めた教皇パウロ6世の心を受け継ぎ、教会は今日も、戦争や分裂、憎しみや飢餓などのない平和な世界が来るように、特別な祈りをささげるように私たちに呼びかけています。

今も世界の現実に目を向けるなら、平和を脅かされている人々は数多くいます。数だけを見ると驚いて無力感に陥ることもありますが、この人々の一人ひとりが生きていて、名前があり、笑ったり泣いたりする人なのだと思うときに、「何か」をしなければ、と促されます。

新年にあたって、教会は平和を祈り、平和な世界を希求し続ける決意を新たにして、降誕したキリスト「平和の君」に、聖母をとおしてこの上ない平和を祈り求めます。

2019年の年末には教皇様が日本に訪日され、広島や長崎で被爆者のために祈りが捧げられると思えます。

新しい年をはじめるとあたり、平和の女王である神の母聖マリアの取り次ぎを願いながら、世界の人々と心をひとつにして、たまものである平和を祈り求めたいと思えます。

## 待降節黙想会

宮本 禮子

12月9日大阪教区松永神父様ご指導のもと黙想会が行われました。

視覚に訴えるプロジェクターが初めて使われ、私どもは思いもかけないところに発想を飛ばすなど、濃くそして多岐に渡り考える時間をすごすことが出来ました。

1. ふだん中々聖書を開くことがなくなっている自分を反省し、無作為に祈りながら開く・・・
2. 短い動画でしたが胸をつまされるテーマで、愛されている分だけ幸福で返そう

の2点をこれならほんの少し出来るかなと思いつつの日々です。

神父様には遠路はるばる富士のふもとまでおいでいただき有難うございました。

待降節を恵み豊かに共に過ごせますように・・・

## 星は輝いている

### みことばを味わう 61

年の初めの主日に教会は主の公現の祭日を祝います。このことにはどのような意味があるのでしょうか。主の公現の祭日の福音は、わたしたちになじみ深いクリスマスの物語の一部です。

「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので拝みにきたのです。」

夜空を見上げて、世の行く末を判じることをなりわいとしてきた占星術の学者たちはこのように言います。このことばは旧約聖書の民数記24章のバラムの託宣を思い起させます。

「わたしには彼が見える。しかし、今はいない。彼を仰いでいる。しかし、間近にはない。

ひとつの星がヤコブから進み出る。ひとつの笏がイスラエルから立ち上がり・・・」

はるか昔に異邦の先見者が告げていた託宣は、今や実現しつつあるのです。気の遠くなるような時を経て、これも異邦の占星術の学者たちは旧約聖書に記されているあの星を、東の国で臨み見たのです。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。」彼らは聖書に記されていることが何を意味しているかを読み解いたのです。こうして彼らは、東の国で見た星の輝きに導かれるようにして、エルサレムの都にやって来たのでした。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。」イスラエルの主である神がご自分の民の間で実現し始められたみわざの知らせは、異邦の地からもたらされたのです。エルサレムの都には王ヘロデが君臨していました。しかし、ヘロデの出自は自他ともに認めていたように、ユダヤ人の王とは言い難いところだったのです。ヘロデとその取り巻きの人々は恐れにとらわれざるをえませんでした。その結果どのようなことが起こったかをマタイ福音書は、私たちの反応を無視するかのように冷静な筆致で記しています。そこから私たちは何を読み取ることができるでしょうか。ここに記されていることは今も変わることなく繰り返されています。そのような人の世に、私たちのメシア、主キリストは誕生されたのです。その事を聖書はあかししているのです。

(毎日のミサ1月より)

## 教会委員会記録

12月2日 12名

1. 12月～1月の典礼（こよみ参照）
2. 感謝と喜びの集い報告  
献金額 131,480 円国連 WFP と日本ユニセフへ献金 遊休品 1,830 円クリスマス献金へ
3. 黙想会について  
12月9日大阪教区の松永敦神父来て下さり、いつものスケジュールで行う。
4. 主の降誕について  
パーティーの準備 16時より。司会者は大野さんをお願いします。他
5. その他  
2019年度の年間計画は1月のおとずれに差し込む。  
役員改正について？



### 平成30年クリスマス献金ご報告

本年の「待降節及びクリスマス献金」は、富士吉田教会の近隣地区で活動する団体に寄付することとし **48,000円**の献金をいただきました。富士河口湖町にある「河口湖ハーバル工房」と「富士五湖ダルク」に各々 **24,000円**を私たちのささやかな気持ちとして贈らせていただきます。

尊い献金。誠にありがとうございました。

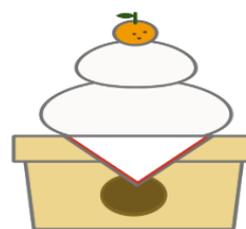
### 東日本大震災献金につきまして

間もなく平成23年3月11日におこった東日本大震災から8年の月日が流れようとしています。平成という時代は、多くの災害に見舞われた時代でもありましたが、その中でも広範囲に最悪の被害をもたらした東日本大震災。どん底から復興された方々がおられる一方で、今なお、故郷に変えることも許されない福島の方々。

私たち富士吉田教会では、ミサの折々に祈り、復興支援の一助として「三陸わかめ」の販売、こびっとプロジェクトへの参加などを行っておりますが、月日の流れの中でともすれば風化しつつあるのが、昨今の現状です。

2018年は国内外で大規模な災害が多かったため、献金箱設置を遠慮しておりましたが、3月11日に向け1月からは主日のミサの折に「東日本大震災義援金」の募金箱を再び置きたいと思っております。ご協力をよろしくお願いいたします。  
(愛を証しする力を育てる共同体チーム・財務担当)

## こよみ



### 1月

- 1日 (火) 神の母聖マリア ミサ10:30 世界平和の日
- 4日 (金) 初金曜日ロザリオの祈り10:00ミサ10:30
- 6日 (日) 主の公現ミサ 9:30 教会委員会 (クリスマスの飾りのかたづけ)
- 9日 (水) 手芸会 9:30
- 12日 (土) 聖歌練習9:30
- 13日 (日) 主の洗礼 子供と共に捧げるミサ9:30
- 20日 (日) 年間第2主日 国際ミサ9:30
- 25日 (金) 聖パウロの回心 (祝日)
- 27日 (日) 年間第3主日 ミサ9:30 世界こども助け合いの日 (献金)  
第4回山梨地区宣教司牧委員会 甲府教会13:30

\*\*\*\*\*

イタリア語教室 月曜10時 7日・21日・28日

日曜学校 ミサ後 13日・20日・27日

\*\*\*\*\*

### 2月

- 1日 (金) 初金曜日ロザリオ10:00ミサ10:30
- 2日 (土) 主の奉献 (祝日)
- 3日 (日) 年間第4主日 ミサ9:30 教会委員会
- 5日 (火) 日本26聖人殉教者 (祝日)
- 10日 (日) 年間第5主日 子供と共に捧げるミサ9:30

### 1月のミサ奉仕

日	先唱	聖体奉仕者	侍者	第1朗読	第2朗読	歌伴奏
6	東海林義夫	山本一孝	一雄	福永好雄	小松二三子	シスター
13	曾根美香	栗原今朝夫	天翔	猪俣瞳子		シスター
20	東海林美佐子	—	正人	英語	?	シスター
27	東海林美佐子	東海林義夫	一雄	渡辺幹夫	江守香代子	シスター